

安らぎを呼ぶ、いにしへの風合

因州和紙の世界

和紙の分野では、日本で初めての「伝統的工芸品」の認定を受けた「因州和紙」。

その品質は、専門家の間では広く知られています。因州和紙の歴史や製法、和紙を作り続ける「伝統工芸士」、そして、新たな活用方法を紹介します。

問い合わせ先 市役所第2庁舎経済戦略課 ☎(0857)20-3249

第一章 因州と和紙

因州和紙の歴史

本市の佐治町地域と青谷町地域では、高品質を誇る「因州和紙」を生産しています。

因州和紙の歴史は古く、奈良時代（西暦710～794年）に編纂された「正倉院文書」の一部に、因州和紙を使用していると推測されています。また、年代のわかったも

のでは、西暦927年に編纂が完了した「延喜式」の中に、朝廷へ献上された紙の産地として、因幡の国を含む全国42カ国の記載があります。

時代は下り、江戸時代初期。鹿野藩初代藩主・亀井茲矩の交付した文書に「村々切らざる木」（切ってはならない木）として、桑や柿と並んでコウゾ、ガンピ（いずれも紙の原料）

の記載があります。殖産興業に努めた亀井侯が、紙の生産も重視していたことが分かります。

明治時代に、鳥取県が和紙の生産振興を行いました。昭和の時代には洋紙の生産に押され、書道用紙や染色紙など、和紙の個性を活かした製品作りに方向転換しました。

現在では、その独特の風合いを活かして、インテリアや日用品への展開を進めています。

和紙の製法

昭和50年に昔ながらの方法で作られる「伝統的工芸品」として認定を受けた因州和紙は、経済産業省告示によって、その製法が次のとおり規定されています。

1 【技術】抄紙（紙すき）は、次の

技術または技法によること。
(1) 「流し漉き」によること。
(2) 簀（紙すきの道具）は、竹製またはかや製のものを用いること。

(3) 「ねり」（紙をすきやすくするネバネバした素材）は、トロロアオイを用いること。

2 乾燥は、「板干し」または「鉄板乾燥」によること。

【原材料】

主原料は、コウゾ、ミツマタまたはガンピとする。

和紙は左図のような工程で、主に手作業で生産されます。

和紙の生産に適した土地は、素材であるコウゾやトロロアオイが自生していること、水さらしするための清らかな川があることなど、土地は限定されているため、佐治町や青谷町は、「和紙に選ばれた土地」と言えるかもしれません。

【和紙の製造工程】



表 経済産業大臣認定伝統工芸士（認定順）

地域	氏名	事業所
佐治	長谷一正さん	(有)長谷製紙
青谷	中原 剛さん	(株) 中原商店
青谷	前田久志さん	日置和紙工房
佐治	岡村日出正さん	(有) かみんぐさじ
佐治	岡村泰隆さん	岡村泰隆製紙工場
佐治	岡村裕司さん	岡村裕司製紙工場
青谷	西村信吾さん	西村製紙工場
青谷	長谷川憲人さん	長谷川憲人製紙工場
青谷	谷口俊郎さん	谷口製紙工場
青谷	池原和樹さん	池原製紙工場
佐治	岡村義行さん	岡村義行製紙工場
青谷	大江俊雄さん	大江製紙工場

第二章 職人の想い

伝統工芸士とは

前章で紹介した伝統的工芸品の製造に従事する技術者のうち、高度の技術・技法を保持する人が「伝統工芸士」として認定されています（表）。

和紙部門12人の伝統工芸士のうち、2人を紹介します。

和紙に込めた想いを

佐治町加茂で和紙作りに取り組む岡村日出正さんがこの世界に入ったのは、お父さんの病気がきっかけでした。

「生活しなければならぬか



岡村日出正さん

けだったから」

今年の3月までは自宅の工房で和紙をすいていましたが、4月からは「かみんぐさじ」で制作しています。

岡村さんが作る和紙は、画仙紙（書道用）がほとんどです。

「同じ材料、同じ配合、同じ水でも、すく人が違えば、書道の先生から『今回の紙はち

らね。道具はあるし、僕にできることは、和紙作りだ



手際よく、わずか5秒ほどで1枚をすき上げます

よつと違う』と、すぐに言われる。微妙なものなんだ」

その書道家も時代とともに変化が…。

「若い書道家は、紙にこだわらない。材料の配合によって、墨のにじみがうまく出るもの、出ないもの、いろいろあるのに。そういうことをもつと知って、紙を選んでほしいね」

和紙に込めた想いが使う人へ届くことが、岡村さんのやりがいです。

コーディネーターが職人の腕

長谷川憲人さんは、青谷町山根の自宅の隣に工房を設け、息子さんと2人で和紙を制作しています。

「次男だったし、跡を継ぐ気はなかったんですが、ロサンゼルスで紙すきの実演をしたら、たいそう喜ばれて。すっかりやる気になりました」

紙すきを始めて、まだ1カ月のころだったとか。



長谷川憲人さん

「紙すきは、経験よりセンス。息子の方がうまいから



昔ながらの方法で、ゆったりとすく長谷川さん

い。それよりも、和紙作りは原料確保、配合から制作まで、全体のコーディネーターが大事。それが和紙職人の腕です」

画家や書家とも交流の機会があります。

「大家は、本当にいい紙を求めている。歌川広重も喜多川歌麿も、現代に残る作品には、今の技術ではもう作れないようなすばらしい紙を使っていますよ」

これからの目標は、因州和紙の本当の価値を探すこと。

「民芸の大家の柳宗悦氏が、有名な越前和紙や土佐和紙より、因州和紙を高く評価しているんです。それはなぜなのか、これからじっくり研究してみたいですね」

第三章 新たな和紙製品

インテリアを飾る和紙

和紙の用途といえば、書画、障子やふすまといったものが一般的でしたが、最近ではさまざまな製品が新たに生み出されています。

和紙壁紙

「和紙を生活空間に」という発想から開発した、和紙壁紙です。

和紙特有の温かな風合いや染め加工の「にじみ」が壁面を包み、空間を和やかにします。また、昔ながらの伝統技術にJIS規格を適合させ、安全性も実現しています。

壁紙を扱う業者から広く採用されています。

和紙ランプ

世界で初めて確立した、和紙を立体にすく「立体すき」の製法を用いて、最初に世に問うた製品です。

継ぎ目がなく、滑らかな曲面のランプシェードが、光を空間に柔らかく広げます。

「和」にこだわらずモダンデザインを採用し、海外からも注目を集めています。

SHIKIRI (仕切り)

屏風やついたてで空間を仕切って、プライバシーの保護を図る日本の伝統を、和紙を使った新たなデザインで再現しました。

「立体すき」の高度な技術でゆったりとした曲線を描き、安らぎのある姿が、和室にも洋室にも調和します。

また、中に照明器具をセットし、部屋を照らす「仕切り」という新たな機能を提案しています。

採光ブラインド

和紙のちょうどよい光の透過性を利用して、ブラインドに仕立て上げました。和紙の繊維が光を適度に拡散し、部屋の奥まで太陽光を届けます。

日差しが強い西側や南側には、和紙を2枚合わせたものは、弱い側には1枚だけのものと、使い分けができます。



和紙ランプ
(谷口和紙株式会社)



和紙壁紙
(大因州製紙協業組合)



採光ブラインド「和紙タイプ」
(いなば和紙協業組合)



SHIKIRI (仕切り)
(谷口和紙株式会社)



あおや和紙工房
 青谷町山根 313
 TEL (0857) 86-6060
 営業時間 9:00 ~ 17:00
 定休日 月曜日



かみんぐさじ
 佐治町福園 146-4
 TEL (0858) 89-1816
 営業時間 9:00 ~ 16:30
 定休日 水曜日

第四章 和紙に気軽にふれあう

青谷町の顔

「あおや和紙工房」

あおや和紙工房が「青谷町の顔」として開館したのは、平成14年。「展示」「体験」「ショップ」の三本柱でお客様を迎えています。

企画展示室では、和紙ちぎり絵、ランプ、版画、書道など、和紙にまつわるさまざまな美術品を集めた、オリジナルの企画展を行っています。

紙すき体験工房では、少人数であれば予約がなくても紙すきを行うことができます。また、最近人気なのが、ランプシェード作り。簡単に、ほんのり明るく部屋を照ら

す。



すランプシェードが出来上がりますよ。ショップの和紙グッズも品ぞろえ豊富。あれこれ目移りしてしまいます。また、併設のカフェ「べりい」も人気です。

す。

和紙生産伝習施設

「かみんぐさじ」

平成7年にオープンした「かみんぐさじ」は、正式名称を「和紙生産伝習施設」といいます。

和紙をすくための道具がそろっており、生産方法を伝承しつつ、主に画仙紙（書道などのための紙）の生産を行い、出荷して



ます。和紙制作のようすはどなたでも見学できますので、受付にご相談ください（水・日曜日を除く。団体の場合は要予約）。

また、和紙の手すき体験、和紙を使ったオリジナルグッズ作りも人気です（予約制）。ミュージアムショップには、和紙を使った小物がずらり。昔から高品質で名高い「因州筆切れず」という書道用紙も手に入ります。お食事処「みつまた」を併設しています。